

科目名称	小児看護学Ⅱ（こどもをみる）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年前期	1	30
担当教員	土居 泰子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有（看護師） <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

小児看護においては、発達段階に応じた技術が必要とされることから、小児の発達段階に応じた日常生活の援助に必要な基本的知識と技術を習得する。また、小児に特徴的な健康障害について理解し、症状・治療・処置に伴う援助方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 成人と小児の身体的・心理社会的成長発達の違いをふまえて、小児看護技術の特徴を理解できる。
2. 小児の成長発達を促進するコミュニケーション方法、遊びを用いた援助方法を理解できる。
3. 小児の各成長発達段階に応じた適切な機器や方法を理解し、基礎的な小児看護技術を習得できる。
4. 演習を通して、小児を尊重し、家族に配慮する態度を考えることができる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	小児看護技術の特徴	講義
2	発育状態の評価:身体計測 清潔・衣生活の援助技術	講義 演習
3	バイタルサインの測定①	講義
4	バイタルサインの測定②	演習
5	バイタルサインの測定③	演習
6	検査・処置の介助	講義
7	与薬・輸液管理①	講義
8	与薬・輸液管理②	演習
9	呼吸・循環を整える技術	講義
10	プレパレーション・ディストラクション①	講義
11	プレパレーション・ディストラクション②	講義
12	プレパレーション・ディストラクション③	演習
13	プレパレーション・ディストラクション④	演習
14	プレパレーション・ディストラクション⑤	演習
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験(60%)、学内実習・演習(40%)によって評価する。

【6】教科書

奈良間美保:系統看護学講座 専門分野 小児看護 1 小児看護学概論 小児臨床看護総論(第15版)医学書院 2025 (電子版)
山元恵子:新訂第2版 写真でわかる小児看護技術アドバンス(第2版) インターメディア 2025年

【7】参考書

岡庭豊:看護がみえる vol.5 対象の理解 I (第1版)メディックメディア 2023年

【8】受講生へのメッセージ

少子高齢社会で子どもと関わる機会の少ない現在、子どもとのコミュニケーション方法、子どもの苦痛を最小限にする看護技術を学ぶことは、これからのあなた人生で役に立つことがありますよ。